

平成 29 年 7 月 稲荷山図書館指定管理者連絡調整会議 議事要録

日時	平成 29 年 7 月 28 日 (金) 13 時 50 分から 14 時 30 分まで
場所	光が丘図書館 第一会議室
出席者	<p>(1) 光が丘図書館 (以下「光」)</p> <p>光が丘図書館長、管理係長、運営調整係長・係員 (2)、事業統括係長、子供事業統括係長</p> <p>(2) 稲荷山図書館指定管理者 (株式会社ヴィアックス) (以下「稲」)</p> <p>稲荷山図書館長、同館業務従事者、本社スタッフ (2)</p>
内容	<p>① 施設管理について</p> <p>(光) エレベーター工事については、一番音が出る工事を特別館内整理期間中に実施する予定だが、その前後も音等が発生することがある。そのため、館内掲示や館だよりを使って早めに利用者への周知をお願いする。</p> <p>→ (稲) 承知した。</p> <p>② 職員体制・会計収支について</p> <p>(光) 会計収支の産廃処理について</p> <p>→ (稲) 5 月に例月より費用がかかっているのは古くなった備品を処分したため。</p> <p>③ 事業計画について</p> <p>(光) 6 月開催の「使って楽しい! タブレット型 PC」について</p> <p>→ (稲) 年一回実施している事業で、一人に 1 台、タブレット PC を配り、基本操作やアプリケーションを体験していただくもの。事業の中では、稲荷山図書館のデジタルアーカイブサイトも紹介している。</p> <p>→ (光) 練馬区独立 70 周年を記念して、練馬区史をデジタルアーカイブ化するので稲荷山図書館のデジタルアーカイブと併せて周知をお願いしたい。</p> <p>→ (稲) アーカイブ用のタブレット PC を設置してある場所の近くで掲示を行うなど、紹介していきたい。</p> <p>(光) 図書館で飼育しているカブトムシの状況は。</p> <p>→ (稲) 50 匹以上が成虫化している。飼育展示のほか、7 月に実施した児童向けのイベント「カブトムシのイラストを描こう!」で、参加者一人に 1 匹ずつ配った。</p> <p>(光) みどりバスへのポスター掲示は、付近の路線に限った掲示か。</p> <p>→ (稲) バス事業者に申請する際、全路線で申請するよう案内があったため、現在は 6 路線すべてに掲示されている。</p> <p>→ (光) 今後、他館でもみどりバスを使った広報を考えた場合は、掲示する路線のすみ分けが必要になるかもしれない。一方で、バスを使った広報の効果はどうか。</p> <p>→ (稲) イベント時のアンケートで、「このイベントを何で知ったか」聞いているが、バスのポスターを見てという声は少ない。</p> <p>(光) ケアハウス大泉中央での読みきかせについて</p> <p>→ (稲) 今年の 2 月に次いで 2 回目の訪問。今回は施設からの声掛けがあった。</p>

(光) 6月は高齢者施設3か所に読みきかせを実施しているが内容に違いはあるか。

→ (稲) 読み着かせや詩の朗読など、演目は統一している。次回も来てほしいとの声があり、3施設とも今後も続けていく予定。

(光) 高齢者施設への読みきかせプログラムはどう決めているか。

→ (稲) 各施設に相談して決めている。内容を任せてくれる施設もあるが、デイサービスセンターでは、脳の活性化につながるということで、一緒に声を出すものをという要望があった。そのため、回文や早口言葉、詩の朗読を必ず入れるようにしている。実際の演目は蔵書を使ってスタッフが勉強しながら決めている。

④ 児童サービス事業について

(光) 5月開催の「つくってあそぼう！こどもの日工作会」について

→ (稲) 工作系の事業は子供達に大変人気がある。当日は会場を二つに分けて、一つは工作のコーナー、もう一つは竹ひごで作った弓矢を使ってどのくらい飛ばせるかを体験するコーナーとした。夏休みは昆虫採集を中心とした事業を考えている。

(光) 工作会のテーマはどのように見つけているのか。

→ (稲) 担当者の過去の経験や、行事に関連した工作の本を取り寄せて研究している。怪我のないよう、はさみを使わない工作で、難しくないものを選んでいく。

(光) 5月開催の「かがくと森田くんのわくわく科学実験」について

→ (稲) 今回で2回目の実施となる。最初は春日町図書館で行った事業だが、内容がよく人気が高いため稲荷山図書館でも開催することにした。前半は、摩擦や磁石に関する実験やクイズを行い、後半はチームに分かれて、風船ロケットを工作した。芸人の方ということもあり、話が面白く子供達からもとても人気があった。

(光) 5月開催の「昆虫博士はきみだ！」について

→ (稲) 平成29年1月にリニューアルした昆虫クイズ機「いなQ」に挑戦し、5問正解した方には記念品を渡すイベント。新しくなった「いなQ」を体験してもらうことや、館の特色である昆虫や昆虫コーナーのPRにもつなげようと実施した。現在、「いなQ」のわかりやすい操作方法を作成しており、今後も昆虫コーナーを少しずつ新しくしていきたい。

(光) 5月開催の「こどもの読書週間記念『いなりやまスタンプラリー』」について

→ (稲) 本の貸出しとおはなし会の参加等でスタンプがもらえるもの。5つのスタンプがたまったら子供達に記念品として「どくしょノート」を渡した。カードは240枚配布し、スタンプが完成して「どくしょノート」を渡せたのが35名だった。余った「どくしょノート」は、10月に実施予定の「いなりやま読書ビンゴ」で使用する予定。

(光) 学校支援について。本の探検ラリーの実施状況は。

→ (稲) 夏休み前に3校で実施した。